

平成 20 年度事業報告

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日にいたる平成 20 年度の事業活動は、平成 20 年 2 月 1 日(金)開催の第 39 回理事会・評議員会で審議決裁された平成 20 年度事業計画に基づき、寄附行為に掲げるバイオサイエンス分野の研究者に対する助成及び学会等の開催助成、及び財団創立 20 周年記念式典などの諸事業を行った。

1. 年間の経緯 (平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月)

平成 20 年

- 4 月 21 日 創立 20 周年記念事業 第 3 回企画委員会 於：学士会分館
- 4 月 25 日 役員変更登記
- 5 月 20 日 会計及び業務監査
- 5 月 19 日 財団パンフレット更新
- 5 月 31 日 第 20 回国際交流助成(前期)募集締切
- 6 月 4 日 第 20 回研究助成、特別枠研究助成および第 20 回国際交流助成(後期)募集開始
- 6 月 6 日 第 40 回理事会・評議員会 於：経団連会館
 - ① 平成 19 年度事業及び収支決算報告、
 - ② 創立 20 周年記念特別枠研究助成選考小委員会委員選任
- 6 月 19 日 資産総額変更登記
- 6 月 20 日 文部科学省へ平成 19 年度事業状況報告書及び登記事項変更届提出
- 6 月 26 日 第 20 回国際交流助成(前期)選考会 於：学士会分館
- 7 月 17 日 第 44 回生命科学助成財団(LSF)懇談会出席
於：名古屋観光ホテル
- 8 月 15 日 財団年報第 9 号(平成 19 年度)刊行
- 8 月 31 日 第 20 回研究助成、特別枠研究助成および第 20 回国際交流助成(後期)募集締切
- 9 月 18 日 第 20 回国際交流助成(後期)選考会 於：KKR ホテル
- 10 月 10 日 第 20 回研究助成振り分け会 於：KKR ホテル
- 11 月 12 日 文部科学省実地検査
- 11 月 19 日 新公益法人制度に係る説明会(文部科学省主催)出席
- 12 月 4 日 第 20 回研究助成候補者選考会 於：経団連会館
特別枠研究助成候補者選考小委員会 於：経団連会館

平成21年

- 1月19・20日 第45回生命科学助成財団（LSF）懇談会出席
於：下田セントラルホテル
- 2月 5日 第41回理事会・評議員会 於：KKR ホテル
①第20回及び特別枠研究助成対象者の選出、②「学会等の開催助成」増枠と平成21年度助成対象の選出、③助成事業運用の一部変更、④評議員の改選、⑤理事及び監事の改選、⑥「名誉理事」称号の贈呈、⑦平成21年度～24年度選考委員の選出、⑧新公益法人制度の移行方針、⑨平成21年度事業計画並びに収支予算
- 2月 9日 (財)助成財団センター「期待される助成財団と移行申請の実務」
セミナー出席 於：損保会館
- 2月24日 第21回国際交流助成(前期)募集開始
- 3月 6日 財団創立20周年記念式典、研究助成贈呈式
於：日本工業倶楽部
- 3月31日 第21回国際交流助成(前期)募集締切
- (4月 6日 平成21年度事業計画及び収支予算書文部科学省提出)

2. 助成事業

助成事業のまとめ

事業名	推薦または申請件数	助成件数	採択率(%)	予算総額(万円)	実績(万円)
研究助成	217	28	12.9	5000	5000
「研究助成」メディカルサイエンス分野	89	11	12.4	2200	2200
「研究助成」バイオテクノロジー分野	87	11	12.6	2200	2200
「奨励研究助成」	41	6	14.6	600	600
特別枠研究助成	35	3	8.6	900	900
国際交流助成	121	32	26.4	750	734.9
（前期）	67	18	26.9		430
（後期）（注）	54	14	25.9		304.9
学会等の開催助成	5	5	100	100	100

（注） 助成件数には辞退者1名を含む。助成実績には辞退者に関わる諸経費を含めた。

（1） 第20回（2008年度）研究助成

①「研究助成」メディカルサイエンス分野、②「研究助成」バイオテクノロジー分野、③「奨励研究助成」（指定領域；A“生物機能を利用した物質生産技術に関わる研究”、B“機能性食品及びその素材に関わる研究”、C“環境・エネルギーに関わる研究”）に区分して募集した。また本年度は財団創立20周年記念事業の一つとして、「加藤記念財団創立20周年特別枠研究助成」（癌分野における基礎から臨床への橋渡し研究）について募集した。

平成20年6月～8月末（「特別枠」学会推薦は9月末まで）の期間募集した結果、全国の研究機関（本年度Aグループは①のみ応募不可）から、①「研究助成」メディカルサイエンス分野は89件（昨年度70件）、②「研究助成」バイオテクノロジー分野は87件（同78件）、③「奨励研究助成」は41件（同34件）の合計217件（同182件）の応募があった。そのうち女性研究者は43件（同37件）であった。一方、「特別枠」については、指定の3学会（日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌学会）の推薦を含めて合計35件（女性4件）の応募があった。

全選考委員（20名）による事前の一次審査をふまえ、選考委員会は平成20年12月4日（木）に経団連会館にて、選考委員15名出席で開催された。最初に他財団との重複助成に対する考え方を整理し、「有望な若手研究者を幅広く支援する」という財団方針に則り、当財団の助成額を上回る助成金を本年度他財団から受ける

ことが確定している候補者は、高評価であっても選外とする事が確認された。

その結果、①「研究助成」メディカルサイエンス分野 11名、②「研究助成」バイオテクノロジー分野 11名、③「奨励研究助成」6名の候補者 28名が選出された。

また「特別枠」についても同日、選考委員の代表5名による小委員会を開催し、3名の候補者が選出された。

平成21年2月6日（金）に開催された第41回理事会・評議員会で、助成対象者合計31名が決定された。（特別枠含む）

平成21年3月6日（金）に日本工業倶楽部で開催した財団創立20周年記念式典で贈呈式を行い、「研究助成」1件当たり200万円及び「奨励研究助成」1件あたり100万円、および「特別枠研究助成」1件あたり300万円の助成金目録及び記念の盾を贈呈した。

第20回加藤記念研究助成受領者名簿

1) 「研究助成」メディカルサイエンス分野（11名）

氏名	所属機関名	職名	研究題目
大石 由美子	東京大学大学院医学系研究科 システム疾患生命科学による先端医療技術開発	特任 助教	転写因子の翻訳後修飾を介した代謝負荷応答機構の解明と創薬標的としての展開
柏木 明子	弘前大学 農学生命科学部 生物資源学科 柏木研究室	准教授	実験室内進化系を用いた RNA ウイルスの進化に関する研究
北畠 康司	大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学講座	医員	Wnt阻害因子 sFRP3 による側頭葉てんかんの発症機序の解明と新たな治療法の開発
関根 勇一	北海道大学 大学院薬学研究院 医療薬学分野 衛生化学研究室	助手	低分子量二重特異性ホスファターゼによる STAT3 活性制御機構の解明
鄒 鶴	岩手医科大学 薬学部 神経科学講座	助手	アミロイドβ 蛋白の脳内蓄積におけるアンギオテンシン変換酵素(ACE)の意義
竹ヶ原 宜子	大阪大学 微生物病研究所 感染病態分野	助教	細胞融合を担う分子メカニズムの時空間的解明
西川 博嘉	三重大学 大学院医学系研究科 がんワクチン治療学	講師	制御性 T 細胞抑制解除による新規がんワクチン療法開発
HEISSIG BEATE	東京大学 医科学研究所 フロンティア研究拠点	助教	血液線維素溶解系亢進に伴う組織再生促進機構の解明
坂内 博子	理化学研究所 脳科学総合研究センター 発生神経生物研究チーム	基礎科学特別 研究員	GABA 作動性シナプス安定化機構の解明とてんかん治療のための創薬ターゲットの探索

福田 光則	東北大学大学院 生命科学研究科 膜輸送機構解析分野	教授	新規 Rab32/38 結合蛋白質によるメラノソーム成熟機構の解析
眞部 孝幸	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 遺伝子発現機構学研究分野	講師	新規 RNA 結合蛋白質 HMGA1 が誘導する孤発性疾患での異常スプライシングの解明

2) 「研究助成」バイオテクノロジー分野 (11名)

氏名	所属機関名	職名	研究題目
奥島 葉子	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 植物組織形成学講座	助教	高等植物の表皮由来脂質シグナルを介した形態形成機構の解析
小澤 岳昌	東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 分析化学研究室	教授	生きたマウス個体内のタンパク質間相互作用を可視化する発光イメージング法の開発
井沢 真吾	京都大学 大学院農学研究科 応用生命科学専攻 エネルギー変換細胞学研究室	助教	醸造過程における酵母オルガネラ形態の時空間的解析と分子育種への活用
加藤 明宣	近畿大学 農学部 バイオサイエンス学科 分子生物学研究室	講師	細菌病原性調節ネットワークを標的とするペプチド薬の創製
金尾 忠芳	岡山大学 自然生命科学研究支援センター	助教	無機硫黄化合物の酵素化学の確立
神戸 大朋	京都大学 大学院 生命科学研究科 生体情報応答学分野	准教授	糖鎖合成酵素の活性化に必要な金属トランスポーターの同定と物質生産への応用
北 将樹	筑波大学 大学院 数理物質科学研究科 化学専攻 生物有機化学研究室	講師	陸棲哺乳類の麻痺性神経毒の構造と機能
枋尾 豪人	京都大学 大学院工学研究科 分子工学専攻 生体分子機能化学講座	准教授	多核多次元 NMR による生きた細胞内蛋白質の構造解析法の開発
中島 信孝	産業技術総合研究所 ゲノムファクトリー研究部門	研究員	アンチセンス RNA による大腸菌代謝経路の改変とピルビン酸の大量生産
野田 健司	大阪大学 微生物病研究所 細胞制御分野	准教授	オートファジー活性を制御する新規薬剤スクリーニング法の開発
半田 直史	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 バイオ医療知財分野	特任助教	ゲノムに潜む全く新しい構造と機能をもつ DNase ファミリーの探索と解析

3) 「奨励研究助成」(6名)

氏名	所属機関名	職名	研究題目
加治屋 勝子	山口大学 大学院医学系研究科 器官制御医科学講座 生体機能分子制御学	助教	血管緊張異常の分子機構と植物ポリフェノール類による選択的阻害機構の解明
柴田 貴広	名古屋大学 大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻 生命機能化学講座 食品機能化学研究分野	助教	食品由来の神経分化シグナル活性化因子の探索と機能解析
善藤 威史	九州大学 大学院農学研究院 生物機能科学部門 微生物工学分野	助教	乳酸菌における多成分抗菌ペプチドの生産制御機構の解明とその利用
谷 修治	大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 生命機能化学分野 生体分子機能学講座	助教	バイオマスの完全酵素糖化に向けたセララーゼ大量発現系の構築
豊岡 公德	理化学研究所 植物科学研究センター 機能開発研究グループ	研究員	植物における分泌に関与する4回膜貫通タンパク質の機能解析と物質生産への応用
松永 茂樹	東京大学 大学院薬学系研究 分子薬学専攻 有機合成化学教室	講師	有用物質生産における環境負荷低減・省エネルギーを指向した新規協奏機能触媒の開発

4) 「創立20周年記念特別枠研究助成」(3名)

氏名	所属機関名	職名	研究題目
上田 龍三	名古屋市立大学大学院 医学研究科 腫瘍・免疫内科学	教授	ヒト免疫担当細胞移入 NGO マウスを用いた免疫療法評価システムの確立
尾池 雄一	熊本大学 大学院医学薬学研究部(医学系) 成育再建・移植医学講座 分子遺伝学分野	教授	新規血管・リンパ管新生因子 ANGPTL2 血中動態とがん進展・転移・予後の関連解析
森 正樹	大阪大学 大学院医学系研究科 消化器外科	教授	癌幹細胞を標的とした新しい消化器癌根治療法の開発研究

(2) 第20回(2008年度)国際交流助成

平成20年度は前期応募者67名より18名、後期応募者54名より14名、合計32名に対し審査・選考のうえ、合計750万円(前期430万円、後期320万円)を助成した。ただし後期助成者のうち1件について、やむを得ない事情による辞退があったため、諸経費を差し引いた額の返還を求めた。従って助成者は後期13名となり、助成金支出は734万8716円となった。下記名簿は辞退者を除いている。

1) 第20回加藤記念国際交流助成(前期)受領者名簿

番号	氏名	所属機関	職名	学会名	国、州	助成金(万円)
1	市川 幹	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	助教	第15回国際RUNXワークショップ	マサチューセッツ	25
2	岩倉 浩	京都大学医学部附属病院探索医療センター	助教	北米内分泌学会	カリフォルニア	20
3	屋万 栄	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 健康科学専攻	大学院生	第22回移植学会 国際会議	オーストラリア: シドニー	20
4	島津 朋之	東北大学大学院 農学研究科 生物産業創成科学専攻	大学院生	国際酪農科学・畜産学合同学会	インドア	25
5	竹花 佑介	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	日本学術振興会特別研究員	第8回ゼブラフィッシュの発生と遺伝に関する国際会議	ウィスコンシン	25
6	富谷 朗子	海洋研究開発機構・地球内部変動研究センター	研究員	第8回欧州窒素固定会議	ベルギー: ゲント	30
7	中西ゆう子	富山県立中央病院 臨床病理科	臨床病理科副医長	第43回ヨーロッパ肝臓学会(EASL) 年次総会	イタリア: ミラノ	25
8	中原 広道	長崎国際大学薬学部 薬学科	助手	第22回ヨーロッパ生体界面・コロイド学会	ポーランド: クラクフ	30
9	西村 智	東京大学大学院医学系研究科循環器内科	研究員	第15回国際血管生物学会	オーストラリア: シドニー	20
10	野田 悟子	理化学研究所環境分子科学研究推進グループ	協力研究員	第12回国際微生物生態学会大会(ISME-12)	オーストラリア: ケアンズ	15
11	林 良樹	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター	助教	ゴードンリサーチカンファレンス"プロテオグリカンス"	ニューハンプシャー	25
12	福田 康弘	神戸大学理学研究科 生物学専攻	学術推進研究員	国際進化原生動物学会第17回大会、国際原生動物学会第59回大会合同学会	カナダ: ノバスコシア	20

13	升田 博隆	慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室	助教	欧州ヒト生殖学会	スペイン: バルセロナ	30
14	松尾 拓哉	名古屋大学 遺伝子実験施設	研究員	第13回クラミドモ ナス国際会議	フランス: イェール	30
15	森下 大輔	東京大学大学院・ 薬学研究科	大学院生	キーストンシンポジ ウム(幹細胞、癌、細 胞老化)	シンガポ ール	15
16	谷口 俊介	筑波大学大学院生命環 境科学研究科若手イニ シアティブ下田臨海実 験センター	助教	第18回国際ウニ発生 学会	マサチュ ーセッツ	25
17	山田 和彦	物質・材料研究機構	特別研究 員	ゴードン会議: 生体分子系核磁気共 鳴法の研究	イタリ ア: Barga, Lu cca 地方	30
18	由田和津子	お茶の水女子大学大学 院人間文化研究科	リサーチ フェロー	アメリカ植物生理学 会	メキシ コ: メリダ	20

2) 第20回加藤記念国際交流助成(後期)受領者名簿

番号	氏名	所属機関	職名	学会名	国、州	助成金 (万円)
1	浅井 理恵子	東京大学大学院 医学系研究科 分子細胞生物学	大学院生	American Heart Association Scientific Sessions 2008	ルイジア ナ	25
2	猪原 匡史	京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学 神経内科	助教	Vas-Cog 2009: The International Society for Vascular Behavioural and Cognitive Disorders	シンガポ ール	15
3	川崎 良	山形大学 医学部 情報構造統御講座 視覚病態学	客員 研究員	Annual Congress of European Association for Vision and Eye Research	スロベニ ア: ポルトロ ズ	30
4	佐波 理恵	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 発生工学研究室	特任 研究員	Germ Cells	ニューヨ ーク	25
5	高梨 琢磨	森林総合研究所 森林昆虫研究領域	主任 研究員	XIIth Invertebrate Sound and Vibration Meeting	フランス: ツールズ	30
6	高野 倫一	東京海洋大学 ゲノム科学講座	博士 研究員	Plant and Animal Genome XVII Conference	カリフォル ニア	20
7	中川 俊徳	京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物学講座	研究員	Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Germ Cells	ニューヨ ーク	25

8	西 裕志	東京大学大学院 医学系研究科 腎臓内科学	大学院生	Renal Week 2008, American Society of Nephrology Annual Meeting	ペンシル ベニア	25
9	西原 秀典	東京工業大学大学院 生命理工学研究科 生体システム専攻	助教	Genomic Impact of Eukaryotic Transposable Elements	カリフォル ニア	20
10	野地 智法	東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野	博士 研究員	2nd vaccine global congress	マサチュ ーセッツ	25
11	前田 礼男	東京理科大学 基礎工学部 生物工学科	助教	50th Annual Drosophila Research Conference	イリノイ	25
12	八幡 直樹	国立精神・神経センター 神経研究所	流動 研究員	Neuroscience2008	ワシント ンDC	20*
13	林原 絵美子	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室	助教	11th Western Pacific Congress on Chemotherapy and Infectious Diseases	台湾: 台北	10

(3) 第19回(2008年度)学会等開催助成

平成20年度は下記の5件の学会に対して助成を実施した。助成金額は1件20万円とし、合計100万円を助成した。

番号	会議名	参加者数	推薦者	申請者	開催期日	開催場所
1	第62回日本栄養・ 食糧学会大会	海外 10名 国内 1000名	香川 靖雄 理事	女子栄養大学 岡崎 光子	2008年 5月2日~4日	女子栄養大学 (埼玉・坂戸市)
2	日本分子生物学会 第8回春季シンポジウム	海外 若干名 国内 400~500名	長田 重一 評議員	北海道大学 畠山 昌則	2008年 5月26日~27日	ロイトン札幌
3	第28回札幌がんセミナ ー国際シンポジウム	海外 20名 国内 130名	三品 昌美 評議員	東京大学 宮園 浩平	2008年 6月26日~27日	北海道大学 学術交流会館
4	第10回国際樹状細胞 シンポジウム	海外 250名 国内 250名	岡田 吉美 理事	慶応義塾大学 小安 重夫	2008年 10月1日~5日	神戸国際 会議場
5	日英ワークショップ2008 「放線菌ゲノムバイオ ロジーの新たな展開」	海外 10名 国内 100名	別府 輝彦 理事	日本大学 上田 賢志	2008年 10月31日~ 11月1日	日本大会館 (市ヶ谷)

3. 年報

「財団年報 平成19年度」を8月15日付で発行した。約700部は理事・監事・評議員のほか、名誉理事、選考委員、主務官庁(文部科学省)、出捐会社関係者、前年度の研究助成対象者、大学、他財団等に配布した。

今回から版形をB5版からA4版に大きくしたほか、研究報告書の書式を統一し、読みやすさに工夫を凝らした。

4. 財団創立20周年記念式典(研究助成贈呈式同時開催)

平成21年3月6日(金)13時から加藤記念財団創立20周年記念式典を、第20回研究助成贈呈式を兼ねて東京丸の内の日本工業倶楽部会館にて挙行了。理事長挨拶の後、来賓の文部科学省研究振興局ライフサイエンス課菱山豊課長(川上一郎氏代読)および協和発酵キリン株式会社松田讓社長より祝辞を頂いた。

ついで研究助成贈呈式を行ない、特別枠研究助成を含む全31名(3名代理出席)に対して助成金目録及び記念の盾を理事長より贈呈した。

引き続き、大阪大学・審良静男教授(座長：岸本忠三理事)、東北大学・大隅典子教授(座長：三品昌美評議員)、東京大学・堀之内末治教授(座長：森 謙治理事)、富山県立大学・浅野泰久教授(座長：木村 光理事)による記念講演が行なわれた。

式典終了後、記念祝賀会を行った。木下名誉会長の挨拶に始まり、財団関係者、助成者、一般参加者等の歓談が続いた後、小田理事の挨拶で祝賀会は終了した。

なお参加登録者は約170名であり、当日は来賓2名、記念講演演者4名、助成受領者31名、新旧財団役員等36名、歴代助成者7名、一般参加者24名、財団旧職員49名、出捐会社関係者41名等、約150名の出席があった。